



教育委員会だより

編集・発行 東金市教育委員会 教育部教育総務課

〒283-8511 東金市東岩崎1番地1 東金市役所4階 / TEL 0475-50-1183
メール: kyoso@city.togane.lg.jp URL: http://www.city.togane.chiba.jp/

第10号

平成28年
6月30日発行



ボールゲームフェスタ・IN・東金

キッズチャレンジ



4月30日(土)東金アリーナを会場として、サッカー元日本代表の鈴木啓太選手を始め、日本トップリーグ連携機構に所属する選手や指導者による、「ボールゲームフェスタ・IN・東金」を開催いたしました。

午前の部は小学1年生と3年生を主な対象とした「ボールであそぼう」を実施し、56組(112名)の親子が参加しました。様々なボールを使った「ボールあそび」を体験しながら、手や足を使った、基礎的なプレー・連続的なプレー・ゲーム的なプレーなど、体を動かしながら、楽しく運動能力アップを行いました。

午後の部は小学4年生と6年生を主な対象とした「キッズ・チャレンジ」を実施し、156名の子ども達が参加しました。4つのグループに分かれ、サッカー・ラグビーフットボール・バスケットボール・バレーボールなどを順番にチャレンジし、ボールゲームを楽しく体験しました。

また、いつもは真剣なアスリート達も、子ども達と一緒に笑顔でスポーツを楽しみ、子ども達と選手が交流する良い機会となりました。

平成 28 年度 東金市学校教育指導の指針

『生きる力』の育成

重点目標

学力向上

長欠対策

いじめ対策

1 創意ある学校経営

- 学校教育目標の具現化を図る教育課程の編成と実施
- 特色ある学校づくりの推進
- 組織マネジメントを生かした機動力のある組織づくりの推進
- 目標申告・業績評価と学校評価を生かした経営の推進
- 家庭・地域と幼稚園・小中学校及び他機関との連携の推進

2 確かな学力の向上

- ボールであそぼう
- 思考し、表現す
指導方法の工夫
- 個性に応じた指導の充実
 - 指導と評価の充実
 - 体験活動や問題解決的な学習の重視
 - 言語活動の充実
 - 読書活動の充実
 - ドリル学習の充実

3 豊かな心を育む教育の充実

- 人を思いやる豊かな人間性や社会性を培う道徳教育の充実
- 実践的態度を育成する特別活動の充実
- 情意面を重視した生徒指導の充実
 - 確かな子ども理解と組織的対応の充実
 - 一人一人を大切に作る集団づくりと信頼関係の構築

4 健康・安全・体力向上の推進

- 学校体育の充実
- 健康教育の充実
- 食に関する指導の充実

5 今日的な課題に対応した教育の充実

- 安全教育・防災教育の推進
- 全教育活動を通じたキャリア教育の推進
- 福祉教育の推進
- 国際教育の推進
- 情報教育の推進
- 環境教育の推進

6 特別支援教育の推進

- 特別支援教育の推進を支える学校組織体制づくり
- 一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進
- 特別支援教育支援員との連携強化
- 交流活動の推進

7 教職員の資質・能力向上(研究と修養)の推進

- 学力向上や授業改善に向けた研究の充実
- 幅広い視野と豊かな人間性を身に付けるための修養の充実
- 学校の実態(子ども・地域・保護者)に応じた研究の充実
- 各種研修会への積極的な参加

1 創意ある学校経営

2 確かな学力の向上

3 豊かな心を育む教育の充実

4 健康・安全・体力向上の推進

5 今日的な課題に対応した教育の充実

6 特別支援教育の推進

7 教職員の資質・能力向上(研究と修養)の推進



めざす子ども像

と もだちを大切に子
う んどうを頑張る子
が くしゅうに励む子
ね ばり強く取り組む子

日常実践の推進

- 「明るいあいさつ」運動の推進
- 「いじめをなくす」運動の推進
- 「読書活動」の推進
- 「花いっぱい」運動の推進
- 「明るい歌声」運動の推進

いじめの相談は

「子どもの様子がどこか違う」「登校を渋る」「表情がさえない」等。

お子さんのことで心配なことがある時は、まず学校にご相談ください。

しかし、なんらかの理由で学校に相談ができない(しにくい)場合や、より専門的なアドバイスを受けたい場合などは、各相談機関があります。

○子どもと親のサポートセンター

0120-415-446 24時間対応

○総合教育センター特別支援教育部

043-207-6025

○24時間いじめ相談ダイヤル

0570-0-78310

(全国共通ダイヤル)

○子ども人権110番

0120-007-110

(千葉地方事務局)

○ヤング・テレホン

0120-783-497

(千葉県警察少年センター)

○いじめ・生徒指導窓口

0475-50-1204

(東金市教育委員会 学校教育課)

いじめ問題対策室)

南房総わくわく探検隊

森と海に囲まれた自然と触れ合おう

南房総わくわく探検隊は、小学生44名により、3月27日～28日の1泊2日で、南房総市にある大房(たいぶさ)岬自然の家を訪れ、「岬探検ポイントラリー」や「ドラム缶ピザとスープづくり」を行うなど、自然の中でのキャンプ体験をしました。

初日の「岬探検ポイントラリー」では、運動園地をスタート地点とし、大房岬の中をグループ毎に歩いてチェックポイントで課題をクリアしました。グループ内で力を合



岬探検ポイントラリー

わせて課題に取り組んだことから参加者同士の交流を深めることができたでしょう。



ドラム缶ピザ作り

2日目の午前は、昼食用として食べるスープとドラム缶で焼き上げるピザづくりに取り組みました。各班で担当ごとにピザ生地を作り、野菜切りを行い

全員でピザのトッピングをしました。自分たちの手で作った料理は、味も格別でおいしくいただけました。短い時間でしたが、子ども達は普段なかなか出来ない貴重な体験を満喫していました。

就学援助制度について

すべての児童生徒が円滑に義務教育を受けられるようにするために、経済的理由により給食費や学用品費などの支払いで困りのご家庭に対して援助を行っています。援助を希望される方は、東金市教育委員会学校教育課までお問い合わせください。

【対象となる方】

市内小・中学校に通学するお子さんの世帯で次の①～③のいずれかに該当する方。

ただし、前年中の収入額等の合計額が生活保護基準額の1.3倍以下の方。

※基準額を超える収入がある方は対象となりません。

①生活保護を受けている方

②前年度又は当該年度において、次のいずれかの措置を受けた方
ア 生活保護の停止又は廃止
イ 市民税の非課税又は減免、個人の事業税の減免、固定

資産税の減免

ウ 国民年金の掛金の減免

エ 国民健康保険料の減免又は徴収の猶予

オ 児童扶養手当の支給

カ 生活福祉資金の貸付

③その他

ア 離職又は転職等により、前年と比較して著しく収入が減った方

【問い合わせ先】

東金市教育委員会

学校教育課学事係

TEL(50)1184

《基準額の目安》

家族人数	基準額
2人 (母・小学生)	277万円
3人 (母・小学生2人)	343万円
4人 (母・小学生2人・中学生1人)	418万円

※基準額は家族の年齢構成によって異なります

地域合同防災訓練

6月11日(土)西中学校で地域合同防災訓練が行われました。震度5強以上の地震発生を想定し、地域と学校が助け合い協働する防災訓練です。目的は自らの安全を確保する(自助)能力を育てること、地域の方々との助け合い(互助)精神を育むことです。

訓練の内容は震度5強の地震を想定した学校設備を利用した避難訓練、赤十字救護法、保護者への引渡し訓練等です。

学校にある避難設備「垂直式救助袋」を使い、3階を利用して1年生が軸ベルトを中心に滑り降りる訓練をしました。途中で止まったり、速くなったりと人によって様々でしたが、真剣に訓練を行うことができました。



救護法について、赤十字奉仕団の方に三角巾の使い方など、けが人の手当について

て2年生を中心に学びました。自分の周りだけが人が出たときのことを考え真剣に取り組みしました。

3年生は地域住民の方と協力して避難所の開設・運営を行いました。それぞれが自分の役割を理解し、活動することでスムーズに行うことを学びました。

実際に訓練を実施してみて初めてわかることもたくさんありました。今後の課題として改善に取り組みと共に防災に対する意識を高め、もしもに備えた準備をしたいと思います。

ボールで
あそぼう

今回の訓練にご協力下さった消防署、地域の皆様、多くの方々ありがとうございました。(西中 小田原)

東金市立福岡小学校

第9回
学校紹介

学校教育目標

郷土を愛し、礼儀正しく心豊かで思いやりがあり、自らの夢と希望の実現に向かってねばり強く努力する児童の育成



石川 貢彦校長



福岡小学校は、明治23年3月に町村制による15ヶ村の合併に伴い、福岡尋常小学校として設置されました。今年で創立127周年を迎えます。児童数は、平成28年5月1日現在127名、学級数は8学級(特別支援学級2を含む)、教職員21名の小規模の学校です。少人数であることの強みを生かし、一人一人の児童を確実に伸ばすために、「一人1面の育み」を合言葉として、学校教育目標の実現に向かって日々の教育活動に取り組んでいます。

本校は、昭和57年に野外給食場「新山広場」にベンチ200名分が設置されて以来、全校児童が協力して昼食の準備をして野外で食べる「野外給食」が伝統として続けられています。昭和59年9月には、「学校給食文部大臣表彰」を受賞し記念碑が「新山広場」に建てられています。児童数の減少に伴い、実施(継続)することが難しい状況になってきていますが、職員のアイデアと全校の協力体制の見直しを図りながら伝統を守ろうと頑張っています。地域の方々も、学校に対してとても協力的で、各学期の始めは親子で通学路を歩いて危険箇所の確認を行う「親子で歩こう通学路」や「奉仕作業」、「廃品回収」に多くの参加・協力をいただいています。

南白亀川が学校の横を流れ、水田地帯が広がり、自然豊かな落ち着いた環境の中で、全校児童が「喜んで登校」「満足して下校」する姿をめざして努力してまいります。



いきいき活動する「ふくおか」っ子

- ふれあいを大切にする子
- くふうして学ぶ子
- おもいやりのある子
- からだの丈夫な子